



令和4年度 市政運営方針

問合せ先
政策推進課
☎072-433-7055

基本的な考え方

市民のみなさんのニーズを積極的に収集し、市民のみなさんと将来ビジョンを共有し、市民のみなさんに論理的に説明できる市政を運営します。

市政の方向性

人口減少・少子高齢化が進む中、「いかに持続可能なまちづくりを行うか」が重要です。この人口減少と少子高齢化の課題に対応した施策を積極的に展開します。

まちづくりの手段

「新たな時代に即した行政運営への転換」を図ります。
◆人口減少社会でも人口密度の維持による生活サービスの充実・確保を図ります。
◆近隣市町村との広域連携や、市民団体・企業との公民連携を積極的に進め、適切な役割分担により、市の負担を最小に抑え、最大の効果を発揮できるよう努めます。

主な事業

めぐりつながりあい事業

デジタルを活用した子育て情報の発信やイベントの開催により、子育て中のかたが孤立せず仲間づくりができる場の創出を図るとともに、子育てをしながら働くことのできる時短・テレワーク就労の機会の創出をめざします。

観光魅力づくり事業



戦略的、計画的に観光施策を展開するために、「観光振興ビジョン」を策定するとともに、二色の浜や水間寺、山手地域の観光振興を図ります。

地域活性化ビジネス創出事業

市内での雇用の創出を図るため、テレワークができるサテライトオフィスの充実・利用促進・異業種交流による新しいビジネスの創出をめざします。
また、民間事業者との連携を推進するため、相談窓口を一元化する公民連携デスクを設置します。

企業誘致事業

企業の誘致や地場産業の設備投資の拡大を図るため、企業立地誘導策や設備投資促進策を検討し、本市がベッドタウンとしての性格から脱却し、昼もにぎわうまちをめざします。

市制施行80周年記念事業

令和5年5月1日に市制施行80周年を迎えます。
令和5年度中、年間を通じて、市内各地で市民協働で記念イベントを開催します。令和4年度から事業の準備を進めるとともに、市内にのぼりや横断幕を設置し、機運を高めます。

公共施設マネジメント事業

文化会館や図書館などの公共施設の利便性の向上をめざし、近隣の市町の公共施設との広域利用や民間活力の活用について、近隣市町や専門家と協議し検討します。

義務教育学校設置事業

第五中学校区において、現二色小学校を改修して義務教育学校を設置し、9年間を見据えた新たな教育を推進します。
令和6年4月開校をめざし、保護者や地域のかたを交えた準備委員会を設置し、多くのかたの意見を反映させた学校づくりに取り組めます。

子ども博士育成事業



天文学や生態学、貝塚の歴史分野に関心のある小中学生に対し、和歌山大学の教授や専門家などによる講座を実施します。
各分野で活躍できる研究者や専門家をめざす人材を育成します。

貝塚市文化財保存活用地域計画策定事業

市内にある150件以上の指定・登録文化財の保存・活用を行い地域振興につなげるため、「貝塚市文化財保存活用地域計画」を策定し、歴史的・文化的資源を活用したまちづくりや観光振興を進めます。

地域公共交通計画

便利で使いやすく、安全で快適に移動できる公共交通ネットワークの構築をめざし、南海電鉄、JR阪和線、水間鉄道の主要駅間をつなぐ公共交通を検討します。
また、山手エリアや、二色の浜、せんごくの杜への移手段の充実を図るため、オンデマンド交通を検討します。高齢のかたや障害があるかたなどすべての市民のみなさんが、自動車に頼らなくても気軽に外出できるように、立地適正化計画との整合を図った地域公共交通計画の策定を進めます。



主要駅周辺整備事業

南海貝塚駅周辺

昭和45年に決定した都市計画が実現していないため、都市計画マスタープランの改訂および立地適正化計画の策定を行い、新たなビジョンに合った形に計画を変更していきます。

南海二色浜駅周辺

大阪府や南海電鉄と連携し、踏切の拡幅、歩道整備を行うとともに、新たに駅山側に改札口の設置を進めます(令和6年度供用開始予定)。
また、駅浜側では、駅前広場の整備に向けて調査を進めます。

JR東貝塚駅

JR西日本と連携し、新たに駅浜側に改札口やエレベーターの設置を進めます(令和5年度供用開始予定)。
また、駅浜側では、駅前広場・アクセス道路の整備や、周辺道路の段差解消などのバリアフリー化を行います。

JR和泉橋本駅山側

市街化区域への編入を視野に、区画整理に関する調査を行うとともに、立地適正化計画で都市機能誘導準備区域に指定し、生活に便利な施設や産業施設の誘導をめざします。

目指すまちづくり

1「子育てしやすいまちづくり」

子どもを産み育てやすい環境を作り、合計特殊出生率(1人の女性が一生の間に生む子どもの数)の向上をめざします。

2「貝塚ならではのまちづくり」

歴史的・文化的資源を活用し、市民のみなさんが誇りをもてるまちづくりを進めることにより、定住促進・転入の増加を図ります。



3「にぎわいのあるまちづくり」

関西国際空港に近接している立地、歴史的資源、豊かな自然、農産物、世界に誇れる企業など、ポテンシャルの高い観光資源を磨き上げ、プロモーションすることにより多くの人を呼び込み、交流人口の増加を図ります。



4「いつまでも元気で、安全安心に暮らせるまちづくり」

高齢のかたも障害があるかたもすべての市民のみなさんが、気軽に外出を楽しめ、いつまでも健康で生き生きと安全安心に暮らせるよう、公共交通施策・介護予防施策などの充実を図ります。